

8 審議の内容	
事務局・環境政策課係長	<p>本日は、お忙しいところお集まりいただき誠にありがとうございます。定刻となりましたので、ただいまから第1回長岡市環境審議会を開催いたします。</p> <p>なお、本日御出席いただいております委員の皆様は、委員名簿のとおり、委員15名、オブザーバー2名の合計17名の皆様から参加をいただいております。環境審議会委員15名中、出席者15名であることから、長岡市環境審議会規則第3条第2項の規定によりまして、委員の半数以上の出席をいただいておりますので、本審議会が成立していることを御報告させていただきます。</p> <p>まず初めに、長岡市環境部長より、御挨拶申し上げます。</p>
事務局・環境部長	(あいさつ)
事務局・環境政策課係長	<p>次第の「3 委員等自己紹介」に移ります。お手元の資料No.1「委員名簿」を御覧ください。</p> <p>(各自自己紹介)</p>
事務局・環境政策課係長	<p>続きまして、次第の「4 会長及び副会長の選出」でございます。</p> <p>資料No.3の7ページに記載いたしました長岡市環境審議会規則第2条第1項に審議会の会長及び副会長各1名を置くとあります。また、同条第2項で、会長及び副会長は委員の互選により定めると規定されております。会長・副会長の選出について、皆さまから御意見はございますでしょうか。</p>
委員	<p>僭越ながら、私の方から会長・副会長の推薦をさせていただきたいと思っております。まず会長につきましては、長岡工業高等専門学校の宮腰和弘委員、そして副会長につきましては、長岡商工会議所会頭であります大原興人委員、お二人を推薦します。</p>
事務局・環境政策課係長	<p>それでは、今ほど委員から御提案いただきました、会長に長岡工業高等専門学校宮腰委員、副会長に長岡商工会議所の大原委員の就任につきましてお諮りいたします。異議はございませんでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>承認をいただきましたので宮腰会長、大原副会長、お席を前の方に移動していただきまして会長・副会長としての御挨拶を改めてお願いします。</p>
会長	(あいさつ)
事務局・環境政策課係長	大原副会長よろしくお願いたします。
副会長	(あいさつ)
事務局・環境政策課係長	<p>それでは、ここからの進行につきましては、宮腰会長よりお願いたします。どうぞよろしくお願いたします。</p>

<p>会長</p> <p>事務局・環境政策課長</p>	<p>それでは、次第に沿って進めていきたいと思えます。次第の「5 環境審議会の設置目的と役割」について事務局から御説明願います。</p> <p>(資料により説明)</p>
<p>会長</p> <p>事務局・環境政策課係長</p>	<p>ただいまの事務局からの説明について、質問等がありましたらお願いします。特に新任の委員の皆さま、何かございましたらお願いします。</p> <p>それでは、議事に入ります。次第の「6 令和3年版 環境審議会に関する年次報告書(案)」について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>(資料により説明)</p>
<p>会長</p> <p>委員</p>	<p>それでは、ただいま御説明いただいた令和3年版環境に関する報告書について、御意見や御質問がありましたらお願いします。非常に量が多かったので事前に配布をさせていただいておりますが、どの部分でも結構ですので、御質問などお願いします。</p> <p>2点ほど質問をさせていただきます。</p> <p>まず1点目は、資料No. 4の4ページにあります長岡市地球温暖化対策実行計画の中に、区域施策編と事務事業編があるとお聞きいたしました。長岡市で持続可能な循環型社会の構築に向けた研究会を進めていると思えますが、そちらの内容が、今後区域施策編と事務事業編にどのように関わってくるのか、変更があるのであれば、その変更の時期等がわかればありがたいです。</p> <p>もう1点は、10ページにペットボトル以外のプラスチック処理施設の整備ということがありましたけれども、資源化が進んで大変好ましいことだと思います。プラスチック容器そのものの削減に向けた取り組みがもしございましたらお聞かせ願えればと思います。助成金や産学官連携で行っていることやこれから行いたいというような計画がございましたらお聞きしたいです。</p>
<p>事務局・環境政策課長</p> <p>事務局・環境業務</p>	<p>長岡市環境基本計画については、来年度、中間見直しの予定であります。それを受けまして、この地球温暖化対策実行計画につきましても令和5年度に改定する予定です。</p> <p>先ほどの研究会の件ですが、当然ながら研究会の中では、地球温暖化対策に関する具体的な施策や取り組みが今後検討され、来年度策定予定のエネルギービジョン(仮称)に盛り込まれてくると考えておりました、それらが地球温暖化対策実行計画にも関係してくると思われま。それについては、随時反映させて盛り込んでいきたいと考えております。</p> <p>私からは御質問2番目の、プラスチック容器そのものの取り組みと、代</p>

<p>課長</p>	<p>替品作成への助成金や産学連携のもとでの取り組みについて御質問に答えたいと思います。長岡市としましては、プラスチックそのものの削減に向けた取り組みは、まだ最終的に処理するシステムが市内にはないため行っておりません。市では、プラスチックごみ排出の抑制について、ホームページやごみの情報誌を通じてできるだけ排出しないよう、市民へ広報等を行っております。</p> <p>それから商工部におきましては、新製品・新技術の開発を行う企業に対しまして、ものづくり未来支援補助金を、バイオの要素を含む新製品開発を行う企業に対しまして、バイオエコノミー推進事業補助金を用意して支援しているところです。</p> <p>産官学連携につきまして市では、工場の技術や学生のアイデア等で、課題解決に取り組む事業を支援する4大学1高専ワンポイント活用事業補助金等を作って支援してきました。お手元にございます「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律の概要」を御覧ください。こちらについては、今年6月に法律が成立し、来年4月以降に施行ということで国が進めております。</p> <p>今年度中に施行令や規則を国が作り、プラスチック資源に係る資源循環について具体的なことが出てくると思います。そちらを注視しながらプラスチックごみの対応について検討していきたいと考えております。</p>
<p>会長 委員</p>	<p>他に御意見・御質問等はございませんでしょうか。</p> <p>この報告の中で、環境教育が新型コロナの影響で十分できなかったという、やむを得ない残念な事情がありました。今後は例えば、リアルな体験の完全な代替とはいきませんが、大学でも昨年度、1年間オンライン授業を実施しながら、実施する側も学ぶ側もいろいろ学びました。今後、感染状況がわからない状況もあると思います。このような取り組みを今後行う予定でしょうか。</p>
<p>事務局・環境施設 課長</p>	<p>教育面は、現場を見ていただくということが非常に重要です。これまで、小学4年生を中心とする社会科の授業について、ほとんどの学校が焼却施設並びに寿に隣接しているバイオガス発電センターを見学して勉強していただいております。しかし、このコロナの状況ですと難しく、昨年度、附属小学校の先生の御協力を得て、バイオガス発電センターを実際に回りながらビデオ撮影をし、回りながら見学をして説明をする映像を作らせていただき、それをDVD化して御希望する学校の方にお貸しするというような取り組みを行っております。</p> <p>ただ実際は、現場に来ていただいて、そこで直接肌で感じていただく中で子どもから環境問題等にも関心を持っていただくことが非常に重要でござ</p>

事務局・環境部長	<p>ざいます。そろそろ感染状況も収まってきましたので、工夫しながら見学等をしていただこうと思っていたところでしたが、また最近になってオミクロン株というような問題も出てくる中では、慎重にならざるをえない状況であります。人数制限など工夫をしながら、状況に応じて、徐々にそのような取り組みもまた再開していきたいと思います。</p> <p>もう1点、追加をさせていただきます。</p> <p>市では小中学校の子どもたち全員にタブレット端末を配布しております。そこで、教育委員会が長岡式双方向型教育情報プラットフォームを構築し、いろんな教育コンテンツを一度にプラットフォームに乗せて発信するような準備を進めております。子どもたちがタブレットを見ながら、例えばバイオガス発電センターの取り組みであるとか、技大の方で取り組まれているSDGsの展開など、いろんな社会活動を含め、自由に見れる、自由に学べるような環境づくりを進めています。まだ準備段階ではありますが、年々このような動きがあるということを御承知おきいただきたいと思ひます。</p>
会長	<p>事務局の方で、教育委員会と調整していくような形になっていると思ひます。</p>
委員	<p>今のことに関連するのですが、先ほどのお話だとDVDでお渡ししてニーズがあればという形でしたが、YouTubeなど広く周知できるような形で、何か行っていただけたらと思ひます。私が今回ゼミで、生ごみとかバイオガス化施設についてのアンケートを学生に取りました。200人ぐらい。アンケートを取りましたら、当大学の学生に問題があるかもしれないのですが、ほとんど知らなかったのです。「そのような取り組み情報を得たいとするならば、どんな方法で得たいですか。」と質問したら、やはりYouTubeやツイッターなどが結構多くて、「呟いて欲しい。」とか、「映像だったらYouTubeでも見たい。」とか。一部映像があるらしいのですが、どこにあるのか良くわからない。そういうところのアクセスのしやすさも大切であると思ひます。映像が一部あったとしても見つけにくい形になっているようです。</p> <p>今の学生は、小学生の時に環境授業が始まるよりも後にこの施設ができた世代なのではないかと思ひます。小学4年生の時に体験してないので、何かわからないけど生ごみ分別させられている、という感じになっているようです。この小学4年生の頃に授業を受けておらず、その後このプロジェクトが始まっている世代、この空白の区間の人たちがいて、アンケート調査に全然知らないという結果が出てきてしまいました。これは大学の問題なのか全体の問題なのかということが、アンケート調査が大学だけだったので判断できないのですが、この人達も親になるので、この世代の知</p>

<p>事務局・環境政策 課長</p>	<p>らなさを埋めるような、それこそYouTubeなどのツールを使う人たちが見る取り組みをしていただければと思いました。</p> <p>他、気になる点として、65ページから66ページにかけて、達成しているものと達成できてないものがありますが、これは、以前無かったのですが、いろいろ加わってすごく見やすくなり、どうもありがとうございます。</p> <p>それとともに、こうなってくると気になるのは、全体を見通してみると、例えば達成ができないものがあるとすると、これに関して今後どのような政策を展開していこうと思っているか。全部に追記すると、ものすごくボリュームが増えてしまうので、特に達成できてないところに関しては、「こうしてこういう精査をしていきます。」ぐらいの一行でも入っていると、見る人が市民の方だとすると、安心できると思いました。</p> <p>全部書くときが多いので、特に達成が難しい状況があるものについては「こうしていきたいです。」という具体的な文言が少しでも書いてあると良いと思いました。</p> <p>一つ目の、学校教育の中で施設の体験学習を受けられなかった世代についての情報発信については、前向きに検討させていただきます。また、最後の事業の達成未達成ということにつきましても、理由や課題でありますとか、今後の方向性について、どのように盛り込むか検討させていただきたいと思います。</p>
<p>会長 委員</p>	<p>それでは他に御意見、御質問等お願いします。</p> <p>先ほど委員も言われたように最後の表がすごくわかりやすくスーッとすんなり入ってきたので、いいなあと思いました。</p> <p>一つ気になったことが、リサイクル率が低下してきたということです。総量的にパーセンテージが出てると思いますので、コロナ禍で何かあったのか。そういうものが入ってないと、やっぱりエビデンス的な部分で不思議な感じがするのです。説明的な部分があった方がいいのかなというのが非常に感じた部分です。</p> <p>それともう一つ、11ページですが、昨今「エンカル消費」という言葉が聞かれるようになりました。そのサービスを提供するような立場の人たちに対して、リサイクル協力店の周知とか、事業者に対して認定すると書かれています。消費者に対して、提供側の事業者に協力店として何かプラスの部分があるのかどうか疑問です。今後、消費と販売側・提供側のサービスのバランスが取れてないと、多分上手く進まないのかなと思います。</p> <p>リサイクル率の低下につきまして、リサイクルされる資源物、特にパソコンなどのデジタル機器が増々進んでくると、新聞や雑誌、チラシ、それからダンボール関係の資源化量が大幅落ちてきています。</p>
<p>事務局・環境業務 課長</p>	

	<p>総排出量自体も減っておりますが、それ以上に資源化される紙類・古紙類が大分減っているため、全体の数値としてリサイクル率が落ちている状況になっております。</p> <p>リサイクル率を上げるためには、資源化されるものをどんどん集めて資源化させる必要がありますが、かと言って新聞紙等になる古紙類がだんだん減っている状況の中で、非常に難しいと思っています。</p> <p>ただ、それ以上に捨てられているごみもいっぱいあります。</p> <p>資源化されるべきごみでも、捨てられているものがたくさんありますので、分別の強化等をしながらリサイクル率等を上げていきたいと考えております。</p>
事務局・環境部長	<p>関連して、コロナ禍の影響で残念ながら、古着を中国の方で引き取れないという状況があり、焼却して燃やしているという事態です。</p>
事務局・環境業務課長	<p>それからもう一点、エシカル制度に代表されるものですが、長岡市では、ごみの減量やリサイクルに協力できるお店について、例えばごみ袋の削減やマイバッグ持参など、店頭回収・簡易包装を推進しているお店を長岡市が認定しますと、ここをリサイクル推奨のお店です、というシールを貼って促したり、また広報等では、こういうお店でごみの減量リサイクルをしていますという形でお店を紹介し、周知しております。</p> <p>ただここ数年来は、お店自体がそんなに増えてないので、今後も広報し、そのようなお店の発掘をしていきながら、市内にリサイクル協力店というものを広げていきたいと考えております。例えば、シルバー人材センターによる、市内小中学校の学生服の販売です。着れなくなった服を販売したりしておりますので、なかなかいいことだと思います。もっと多くの方に広がるような形で、広報・啓発をしていきたいと思っています。</p>
委員	<p>その協力販売店が、ステッカーを貼ってPRすることは理解できるのですが、長岡市として産業廃棄物を何パーセント削減するなど、何か具体的にアクションをやっていかないと、シールだけでは誰もわからないと思います。消費者達は、これからそういう意識が高くなってくると思います。それに対して販売する、供給する側は、どういう意識を持って提供できるかという、シールだけでなく何かいろんなことからプラスにしていかないと、上手くバランスが取れていかないような気がします。</p>
会長	<p>また事務局の方でいろいろ御考慮いただければと思います。他に何かありませんか。</p>
委員	<p>意見というより要望ですが、年次報告書25ページの一番上に大気汚染・悪臭に関する事業ということで野焼きのことが書いてあり、年間20件となっております。特に農村部では、一般ごみの扱いについて長岡市の政策が</p>

<p>事務局・環境政策 課長 会長 委員</p>	<p>浸透しているので分別は進んでいますが、やはり一部、どこかわかりませんが野焼きでの焼却が、なくはないかと思えます。大分減ってきてるかとは思いますが、そのことを例えば住民間でお互いに法律とか、ダイオキシンのことで注意したりすると、それは住民にとって感情的な問題になってしまうので、ここで市は、野焼きパトロールということで巡回指導を行っております。けれどそれ以前に、子どもだけでなく、大人に対する教育と言ったらいいか、あまり波風が立たないような広報活動といたしましうか、そういうことをぜひ期待して、「それはいけないことなんだ。」とか、「それは健康被害が出るんだ。」というようなことを啓蒙活動していただければと思えます。</p> <p>それから、農業に関しては、例えば農薬の空瓶やプラスチックですが、特に問題になっているものがマルチです。畑に使うことがあります、分解しません。農業者だけでなく一般の方も家庭菜園などで使うと思えます。高額になりますが生分解マルチを推奨するなどいかがでしょうか。市では、一般ごみとして、例えば、農薬の空瓶であったり、マルチなどを回収することになっておりますが、やはり人によっては一生懸命家庭菜園するとごみが大量に出てきて、「これは農家の産業廃棄物なのではないか。」と思われるような、ごみを収集する人も判断が難しく、「これは引き受けられない。」と判断することになるのではないかと思えますので、そのあたりのところを長岡市は環境政策が進んでるかと思えますので、配慮していただければと思えます。</p> <p>御意見ありがとうございます。引き続き広報をしっかりと取り組んで参りたいと考えております。よろしくお願ひします。</p> <p>よろしいでしょうか。他に御意見や御質問は、ございませんか。</p> <p>啓蒙活動は、やはり大事なことだと思います。</p> <p>先ほどの大学の話で言いますと、例えば、私どもの大学は全国から学生が集まってきております。入学の時に、「ごみはこういう風に分別しなさい。」という話は一応するのですが、「なぜそのようにしなければいけないか。」とか、「市にはこういう施設がありますよ。」というところが何もなまま他所から来て、素晴らしいバイオ発電技術の施設があることも知らずにまた他所に行ってしまう。知る機会、YouTubeなどもいいと思えますし、何か直接的な見学もあってもいいと思えます。そういうことをもし知っておくと他所に行った時も「長岡ではこういういい取り組みがあったから、そのうち自分が住んだところで何か取り組んでみよう。」とか、「何かこれを取り入れてみよう。」とか、そういうことが少しあるのではないかと思えます。</p>
--------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>それから、実際の現場を見学してわかったことで、「卵の殻は生ごみの施設には入れないで欲しい。」と現場の技術者から話を聞きました。それはある理由で、我々が生ごみとして捨てていいと思ってもそうでないものも実はある。「こういう処理をしてるから。」という話を現場の技術者から聞くと、もちろん話を聞いてもわからない人もいますが、わかる方も出てくるので、そういった啓蒙を大人に対して行ってもいいのかなと思いました。</p> <p>他に、リチウムイオン電池の回収を市として始めたと書いてありましたが、具体的にどの程度回収できているのでしょうか。というのは、多くの方が使わなくなった携帯電話やスマホなど、家の中にただ置いてあるという事例も多いです。リチウムは、希少資源であると同時に長期間ただ放置していると火災の危険もあります。そのような面からしても適切に回収されていくことが大事で、市の事業として非常に良いと思うのです。</p> <p>これは、この程度回収できる、もっと回収率を上げていくなどの具体性を持って、回収と安全の立場から市民にPRしてもらいたいです。</p>
<p>事務局・環境業務課長</p>	<p>リチウムイオン電池の回収ですが、こちらについては、テレビ報道であると思いますが、収集車の中で時々火災が起きて大変なことになっています。何年前にも火災があったため、特にリチウムイオン電池につきまして市政だよりやごみの情報誌でも特集を組んで、危険性について、燃やさないごみとして入れるとどういふ状況が起きるか広報している次第ですが、実際全然なくなったかと言われると火災やボヤなどが起きている現状です。電池を抜かないでそのままおもちゃを燃やさないごみに出し、火災が起きております。おもちゃを使うのは子どもたちですし、小学校や保育園などでも講座を実施して、小さいうちから学んでもらうことを積極的に活動していきたいです。リチウムイオン電池の危険性や分別の大切さを啓発しながら、地味ですが少しずつ無くすように努めていきたいと思っております。啓発活動について、引き続き積極的に行いたいと思っております。</p>
<p>会長 委員</p>	<p>他によろしいでしょうか。</p> <p>販売側の問題もあるかもしれないし、以前だと例えば、電気屋へ行けば回収してくれましたが、今は箱がない。回収の仕方が変わったわけですが、販売店のところにも回収箱があるとか、あるいはここに行けば、こういうことをすれば捨てられるよというような掲示用のPRポスターを貼ることが良いのではないかと思います。</p>
<p>会長 副会長</p>	<p>他に御意見や質問等ございませんでしょうか。</p> <p>一つお尋ねしますが、今のこの環境に関する年次報告書というのは、どなたに読んでもらうために作っているのでしょうか。</p>

事務局・環境政策 課長	<p>多くの市民の方々から理解していただくことが、目的になってまいります。この年次報告書は、環境基本計画の進捗を行っているものでございますので、今取り組んでいること、課題であることなどをしっかり理解していただくことが重要だと思っておりますし、ページの後半の方には、先ほどお話ししましたように一覧表としてわかりやすく達成状況をまとめております。</p>
委員	<p>年次報告書の現状の長さだと、ほとんど初めから最後まで全部読むと大変なので、ダイジェスト版を作って子どもの教育に使うなどしたらどうでしょうか。市民にもう少し手軽に見てもらおうことを考えたら、より良いのではないかと思います。</p>
事務局・環境政策 課長	<p>ご提案ありがとうございます。</p> <p>先ほど委員の皆さまから啓発活動や周知の工夫などをまとめていただきましたが、例えば出前講座であるとかYouTubeであったり、様々な広報活動を合わせてわかりやすい周知方法につきましては、また検討して参りたいと思います。よろしく申し上げます。</p>
会長 委員	<p>他によろしいですか。</p> <p>今のお話に関連するのですが、市民の皆さんに読んでいただきたいということでお作りになるわけですが、年次報告書という視点から見ればいろんなとり方があると思います。先程、委員からお話があったように、どうするのかという目標があるのであれば、こういうことをやりましたということだけで終わらず次に環境施策として、どういう戦略を持っているのかを年次報告書に記載すれば、アクティブに長岡市はそういったことを率先してやっているんだということをわかりやすく表現したら、興味を持って読んでもらえるのではないのでしょうか。ですからいろんなものを、いろんな視点で見たときにこういう風になってるのか、これは減ってるのかどうか、こういう効果があるのかというのは報告書でわかるのですが、具体的にこれから自分たちは日々の生活の中でどの方向に向いてみたらいいのかを誘導できるような、そういったものが書ければ、より報告書として意味があると思いました。</p>
事務局・環境政策 課長	<p>今、委員がおっしゃってることも、そのあたりなのかなという話をお聞きしたのですが、市民が見て自分たちが自ら率先してやっていくんだと、そのことによって住んでる地域が、今以上に良くなっていくんだということに繋がるような、そういう表現が必要ではないかと感じます。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>市民の皆さまから具体的にどのように取り組んでいただいたら良いのかということがわかりやすく伝わるよう、改めて検討して参ります。</p>

<p>会長 委員</p>	<p>他によろしいでしょうか。</p> <p>年次報告書65ページの表の、人と自然が共生するまちの8番「野外レクリエーション施設数」達成状況で「○」になっております。そこで13ページを見ていただくと、「人と自然が共生するまち」ページ内、施策①の(1)-(イ)に 県立自然公園（栃尾地域）となっております。ここに道院という山があり、守門手前の800mぐらいの山です。ここへ私はよく行くのですが、非常に綺麗に整備されて野外キャンプを楽しまれる方がたくさんおります。この間も雪が降る前に行きましたらすごく賑わってテントがたくさん建っていたのですが、そこが閉鎖されるという話を聞いて、そのままそのことについて深く追求しなかったのですが、達成状況では丸がついております。これは、そういう廃止されるなどの状況とは関係ないのでしょうか。それとも、今までの現況ということで、この先はわからないということで受け取ってよろしいでしょうか。</p>
<p>事務局・環境政策 課長</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>一覧表の考え方といたしましては、現時点での状況を記載させていただいたものです。今後の活用方法や方向性につきましては、この評価の中には含まれていないものと御理解いただければと思います。</p>
<p>委員 委員</p>	<p>はい、わかりました。ありがとうございます。</p> <p>長岡市のごみの分別について私も子どもの頃、よく小学校でごみの教育を習ってきたのですが、20代後半になって東京に上京をしていた友達がUターンで戻ってきて話をしていると、「東京の分別はこうだから長岡もこれじゃなかったっけ。これでいいでしょう。」ということをよく聞きます。子どもの頃に習ったけれど忘れてしまったりとか、他の地域に流されてしまう傾向があった場合、どう対処されていくのかお聞きしたいと思います。</p>
<p>事務局・環境業務 課長</p>	<p>ごみの分別については、各市町村それぞれ違いがあります。</p> <p>長岡市は12分別ですが、同じ県内でも他の市町村には20分別しているところもあるし、15分別しているところもあります。それぞれその市町村に合った分別の仕方で行っています。</p>
<p>委員</p>	<p>転入者の対応については、ごみの分別について長岡市が配布している分別表をお渡ししております。わからない部分については、LINEに長岡市の分別アプリが入っておりますので、そちらを広報させてもらっています。特に若い方などに分別アプリを使ってどういうものが燃やすごみであるとか、どういうものが燃やせないごみであるのか、そういうことを広報しております。</p> <p>東京では、ペットボトルが燃やすごみだったりしますが、長岡ではペットボトルは、分別して分けておりますよね。こういう違いは何で出てくる</p>

事務局・環境業務課長	<p>のですか。</p> <p>市町村の施策により、長岡市ではペットボトルは資源物として集めておりますので、ペットボトルは別にして出してもらって寿で仕分けし、使えるものは資源物として分別して業者に販売しております。東京など都会では、燃やしてしまっているところが多いと思います。そのあたりの考え方が異なりますが、先程のようなプラスチック資源の法律ができてくる中で、そういうところも変わってくるのではないかと思います。</p> <p>長岡市は、こういう取り組みをしている。どうして生ごみ収集は、週2回なのか、燃やすごみは2回じゃないのかということなど、わかりやすく数値でお知らせしていきたいと考えております。</p>
事務局・環境部長	<p>先般お配りしました広報紙を敢えて変えたらどうだという提案を私が一番最初にしたのですが、「混ぜればごみ、分ければ資源」をキャッチフレーズにして一旦捨てる前に考えて、これは資源にならないのかという投げかけを我々の方からしていきたいと思います。そういう認識面でこのような話にしたいなということを、これからプラスチック回収も含めて考えがございましたら教えていただきたいと思います。</p>
委員	<p>今の質問のお答えに関係あると思うのですが、11ページのウの所に表があります。割り箸を回収して土壌改良材、使い捨てカイロを回収して鉄の資源材としてと書いてあります。春、年度始めに配られます「長岡市ごみと資源物の分け方と出し方」に、例えば、牛乳パック30枚でトイレットペーパー1ロールになるなど、今のこの割り箸が何々になる、使い捨てカイロが鉄資源になる、という結果を各家庭にもしつかりわかるような資料を配付していただけたら、私達も牛乳、ペットボトルを「あっ30枚になった。これでトイレットペーパー1ロールだ。」という意識と一緒にそのような気持ちにもなっていくのではないかと思います。そのような資料を配布していただけたらと思いました。よろしくお願いします。</p>
事務局・環境業務課長	<p>回収された資源物が、どのようなものになってしまうかというようなことについての結果を知りたいということ。大変貴重な御意見でしたので、広報や啓発という形で行っていききたいと思っております。ありがとうございます。</p>
会長委員	<p>他によろしいでしょうか。</p> <p>環境部の所管の話とは違うかもしれませんが、お聞きしたいです。</p> <p>年次報告書53ページ施策②の「自然環境と調和する開発」という中でいろいろ書いてありますが、この長岡地域は、比較的大河・信濃川を中心としているような河川がたくさんある地域です。水という視点で環境を捉えて施策を展開するとしたら、例えば新しいエネルギー、バイオマスにも水を</p>

事務局・環境政策課長	<p>利用できる場所です。今後、環境という視点から考えたときに、「市はそのような方法でも考えてきます。」ということがあれば、お聞かせください。</p> <p>水というお話がございましたが、例えば今、取り組んでおります循環型社会の構築に向けた研究会で、エネルギーの検討をしてるわけですが、水だけではなく、その地域の資源や土壌、あるいは森林であったり、雪であったり、様々な長岡市の特徴である資源をどのように活かしていくかということについては、今後の循環型社会の構築に向けて非常に重要な地産地消の観点であると考えております。</p>
会長	<p>環境基本計画もさることながら、やはり今後進めていくエネルギー施策の中でもその循環型社会に向けた地域資源をどのように活かしていくかという観点から施策の検討を取り組んで参りたいと考えております。貴重な御意見をいただきありがとうございます。</p> <p>他によろしいでしょうか。</p> <p>活発に御議論いただきましてありがとうございます。貴重な御意見がたくさん出ましたので、事務局から反映すべきところは修正して資料No.4の年次報告書を作成していただくということで、あとはまた事務局と相談して会長預かりということで皆さん御了承いただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
事務局・環境政策課主事	<p>(異議なし)</p> <p>承認していただきましたので次第の「6 議事」についてはこれで、終了とさせていただきます。</p> <p>皆さん大変活発な御議論ありがとうございました。</p> <p>次第の「7 報告」の「(1) エコロジー標語コンクール審査結果」について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局・環境政策課係長	<p>(資料により説明)</p> <p>ただいまの報告について、御質問等がありましたらお願いします。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、次に「(2) 持続可能な循環型社会の構築に向けた研究会」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局・環境政策課係長	<p>(資料により説明)</p> <p>ただいまの説明について、御質問等がありましたらお願いします。</p> <p>それでは、次に「(3) 生ごみバイオガス発電センターの有効活用」について、事務局から説明をお願いします。</p>

<p>事務局・環境施設 課長 会長</p>	<p>(資料により説明)</p> <p>ただいまの説明について、御質問等ございますでしょうか。</p> <p>次に、「(4)事業系ごみ処理手数料の減免」について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局・環境施設 課長 会長</p>	<p>(資料により説明)</p> <p>それではただいまの説明について、御質問等ございましたらお願いします。よろしいでしょうか。</p> <p>次第の報告が終わりましたので、全体を通して皆様から何かございましたら御質問等をお受けしますが、いかがでしょうか。</p> <p>御活発に議論いただきましてありがとうございました。これで本日の環境審議会の事業報告は終了となりますので、事務局にお返ししたいと思います。</p>
<p>事務局・環境政策 係長</p>	<p>最後に次第の「8 その他」に移ります。</p> <p>次回の環境審議会の開催についてお願いいたします。第2回目は令和4年3月を予定しております。状況により開催しない場合もございますが、会議の有無も含め、日程については、改めて連絡をさせていただきます。</p> <p>それでは、以上をもちまして、第1回長岡市環境審議会を終了させていただきます。お忙しいところ誠にありがとうございました。</p>
<p>9 会議資料</p>	<p>別添のとおり</p>